

## 精神疾患とその治療

問題 1 「平成 27 年版自殺対策白書」(内閣府)に基づく自殺に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 自殺死亡率は米国、英国と比べ低い。
- 2 自殺者数は 40 歳代から 60 歳代の男性で全体の 4 割近くを占める。
- 3 自殺は 20 歳から 39 歳までの死因の第 2 位である。
- 4 自殺者数で見ると自殺の原因・動機としては経済・生活問題が最も多い。
- 5 自殺者数は 1998 年(平成 10 年)から 2014 年(平成 26 年)まで年間 3 万人を超えている。

問題 2 脳や神経に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 小脳には橋と延髄が含まれる。
- 2 脊髄は末梢神経系に含まれる。
- 3 視床下部は平衡機能をつかさどる。
- 4 視床は自律神経系の統合中枢である。
- 5 末梢神経系には体性神経系と自律神経系がある。

問題 3 次のうち、ICD-10 に基づく「神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害(F 4)」に含まれる疾患として、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 チック障害
- 2 適応障害
- 3 双極性感情障害
- 4 統合失調症
- 5 血管性認知症

問題 4 認知症又は認知症をきたす疾患に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 アルツハイマー型認知症では、手指の振戦、筋固縮、無動、姿勢反射が目立つ。
- 2 レビー小体型認知症では、記憶障害が主症状で緩徐に進行する。
- 3 クロイツフェルト・ヤコブ病では、幻視が先行し動作が緩慢になり前傾姿勢が目立ってくる。
- 4 パーキンソン病では、ミオクローヌスの出現とともに急速に認知症が進行する。
- 5 ピック病では、健忘より性格変化と社会機能の低下が特徴である。

問題 5 次のうち、解離性(転換性)障害の症状として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 運動失語
- 2 小脳失調
- 3 けいれん
- 4 左右失認
- 5 視覚失認

問題 6 次の精神疾患と症状の組合せのうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 血管性認知症 —— せん妄
- 2 うつ病 —— 誇大妄想
- 3 統合失調症 —— 健忘
- 4 強迫性障害 —— パニック発作
- 5 全般性不安障害 —— 情動脱力発作

問題 7 次のうち、質問紙法による心理検査として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ロールシャツハテスト
- 2 ベンダーゲシュタルト検査
- 3 バウムテスト
- 4 MMP I (ミネソタ多面人格テスト)
- 5 改訂長谷川式簡易知能評価スケール

問題 8 向精神薬とその副作用に関する次の組合せのうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 抗不安薬 ————— アカシジア
- 2 定型抗精神病薬 ————— 筋弛緩
- 3 非定型抗精神病薬 ————— 身体依存
- 4 炭酸リチウム ————— 甲状腺機能亢進症<sup>こうしん</sup>
- 5 選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI) — 賦活症候群

問題 9 次のうち、認知療法の用語として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 転移
- 2 催眠
- 3 自動思考
- 4 絶対臥褥<sup>がじょく</sup>
- 5 自由連想

問題 10 次のうち、「平成 26 年患者調査」(厚生労働省)において、入院患者数が最も多い精神疾患として、正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1 うつ病
- 2 知的障害(精神遅滞)
- 3 てんかん
- 4 統合失調症
- 5 アルコール依存症